

申1号「台風24号の影響に伴う輸送障害に関する申し入れ」

第1回目交渉を行う！No. 2

第3項：支社管内各線区における10月1日の運転計画について明らかにすること。

（会社）台風の影響が10月1日まで及ぶことが予想された為、上越線・吾妻線については前日に8時までの運転見合わせを決定した。 **台風による風の影響を軽視していたことが明らかに！**

【組合】

- 東北線・高崎線は始発から所定運転と言う判断であったがどこの判断か。
- 試運転列車を走らせるかどうかの基準はあるのか。
- レールスターを走らせるべきではとの声もあるが、なぜ走らせなかったのか。
- 急遽全線区初列車を回送扱いとし、点検列車としたがそのような判断を急遽したのはなぜか。
- 初列車を回送扱いにする旨のプレスはしたのか。
- 点検列車に設備系統社員を添乗させている列車・線区としていない列車・線区の判断基準は何か。
- どの設備系統を添乗させるかの判断はどこがするのか。
- 具体的にはどこにいたのか。
- 他支社線区はどうか。

【会社】

- 支社としての判断である。
- 風の予報により状況に応じて判断している。
- レールスターは通常雨による運転中止の場合は走らせるが、そうでない時は走らせない場合もある。状況に応じてである。
- 両毛線桐生～小山間は当初から計画していたが、それ以外は南も風が強くなると予想が出たので急きよ変更した。高崎線は、首都圏の被害状況が多かったため、日が変わり変更した。
- 4：30の段階で出している。
- 設備は、倒木の危険性のある場所に添乗させている。
- 対策本部で判断している。また、添乗させていないとしても沿線の定点ごとに設備社員を配置していた。
- 確認する。
- 高崎支社としてはそこまで把握していない。

第4項：10月1日の輸送混乱が長時間に亘って発生した原因について明らかにすること。

（会社）首都圏においても運休が発生したため、駅に多くのお客さまが滞留し、遅延と抑止が発生、さらに遅れが増延していった。 **我々との認識の違いが浮き彫りに！**

【組合】

- この回答ではわからない。一番根本的な原因は運休によるお客様対流が原因という認識で良いのか。それで終日引っぱるのか。
- 輸送安定性向上委員会でもそのような議論になっているのか。
- 輸送安定性向上委員会の報告書では「指令の列車順序整理ができていなかった」となっているが。
- 根本的な原因を聞いている。我々の認識とはあまりにも乖離があり過ぎる。この議論は次回とする。

【会社】

- 運休等が首都圏などでも発生し、ターミナル駅にお客さまが滞留し、抱えきれなくなり急遽各駅で抑止が発生した。それに伴い運休も発生した。
- そうだ。
- そのような意見も頂いたので中間報告に入れた。
- 了解。